

3地域全体会議（四半期報告 # 3） JAさがみ管轄地域 説明資料

令和6年3月21日

認定特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構

プロジェクトマネージャー 佐藤 正則

スタッフ 新家 美和

目次

農福連携マッチング等支援事業の実施状況	P3
お試しノウフク後のアンケート結果	P6
農作業委託契約成立件数	P9
農家の方と福祉事業所の方とのマッチングの流れ	p11
農家・福祉事業所のマッチング状況（2023年度）	P12
藤沢市での受け入れ実績有の農家の方との連携	P12
藤沢市での新規開拓	P14
他市町での新規開拓	P16
お試しノウフク事例紹介	P17
マッチング等支援事業を進める中での課題と解決策（案）	P27
来年度の計画案	P30
ロードマップ（2020→2025）	P32

農福連携マッチング等支援事業の実施状況

令和2年度から4年度の3年間「農福連携マッチング等支援事業」を受託し、藤沢市内における、農福連携コーディネーター（市民活動ボランティア）の育成、農福連携コーディネーターを中心とした、農家の方と福祉事業所のマッチング支援事業を進めてまいりました。その成果として、累計8件のマッチングを成立することができました。

令和5年度は「農福連携マッチング等支援業務（JAさがみ管轄地域）」を、受託し、マッチングの前段階となる就農体験会（以降、「お試しノウフク」と呼びます）を、藤沢市のみならず、JAさがみ管轄の8市町で実施し、農福連携の輪をさらに広げる事業を進めました。

結果、4市町で合計10回の「お試しノウフク」を実施（藤沢市5回、大和市2回、寒川町1回、海老名市2回）し、さらに、7件のマッチングを成立（藤沢市3件、大和市2件、寒川町1件、海老名市1件）することができました。

マッチング日 (契約日等)	農家		福祉事業所			農作業受委託契約			備考
	名称	農地番地	名称	形態	所在地	内容(形態)	作業頻度	作業人数	
6月2日	くわちゃん農園 (桑垣隆一様)	藤沢市御所見病院近辺	社会福祉法人 エール湘南/ リガーレ	継続B型 生活介護	藤沢市打戻1706	袋詰め (施設内)	週2回 火、金 PM作業	1名	8/31以降も契約継続
7月4日	Smileberry428 (渋谷典子様)	藤沢市亀井野3152-1 (農地ナビ推定)	社会福祉法人 県央福祉会/ かたくりの里	継続B型 生活介護	藤沢市湘南台5丁目1-2	畑作業 (施設外)	週1回 火 PM2h程度	3名	7/31までの契約 酷暑で2回のみ実施
8月18日	大和ゆうきファーム (非公開)	非公開	社会福祉法人 県央福祉会/ 福祉創造スクウェア・すぶら	継続B型 生活介護	大和市上和田1083-1	畑作業 (施設外)	週1回 月 AM1h程度	3名	計画では2h程度の作業だが、夏季 は酷暑のため1h程度
8月28日	とみたの野菜 (富田治孝様)	大和市福田156他 (農地ナビ推定)	株式会社 ナチュラルライフサポート/ レインツリー鶴間事業所	継続B型	大和市西鶴間4-12-2	畑作業 (施設外)	隔週1回 月 PM2h程度	2名	
11月1日	Smileberry428 (渋谷典子様)	藤沢市亀井野3152-1 (農地ナビ推定)	社会福祉法人 こうよう会/ 多機能型事業所のぞみ	就労移行 継続B型	横浜市区中田北1-8-5	畑作業 (施設外)	月3回 木他 PM2h程度	3名	多機能型事業所のぞみは、かなが わコミュニティカレッジの農福連 携関連講座に参加
2月19日	コモレビ農園 (馬谷原光織様)	高座郡寒川町小谷1490-1他、岡 田405	特定非営利活動法人 ともだち/ 就労継続支援B型事業所・友達	継続B型	高座郡寒川町宮山7-1	畑作業 (施設外)	隔週1回 2h程度	1～2名	
2月27日	サンベじふるガーデン (三部孝子様)	海老名市大谷北3-12-17	株式会社 フレンズ(株) 就労継続支援B型・庭と森	継続B型	海老名市東柏ヶ谷5-18-19	畑作業 (施設外)	週1回 2h程度	6名	

	お試し ノウフク 実施回数	マッチング 件数	マッチング後の概算 (後日修正有り)	
			新規就労者数 (月毎)	延べ就労日数 (人数×日数)
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	1	1	1	8
7月	2	1	3	12
8月	1	2	5	13
9月	0	0	0	13
10月	1	0	0	13
11月	0	1	3	22
12月	2	0	0	22
1月	0	0	0	22
2月	3	2	8	32
3月	0	0	0	50
合計	10	7	20	207

くわちゃん：1名×週2回

Smileberry428：3名×2回（7月のみ）

やさいの富田：2名×月2回（8月最終週から）、高野さん：3名×週1回（8月最終週から）

Smileberry428：3名×月3回

コモレビ農園：2名×月2回、サンベジぶるガーデン：6名×月4回（2月最終週から）

目標9件 目標5件

お試しノウフク後のアンケート結果

年度末に一斉に実施したことから、お試しノウフクそのものではなく、農作業受委託契約後の定常作業を一定期間実施した後の学びや気づきも自由意見に記載されていました。

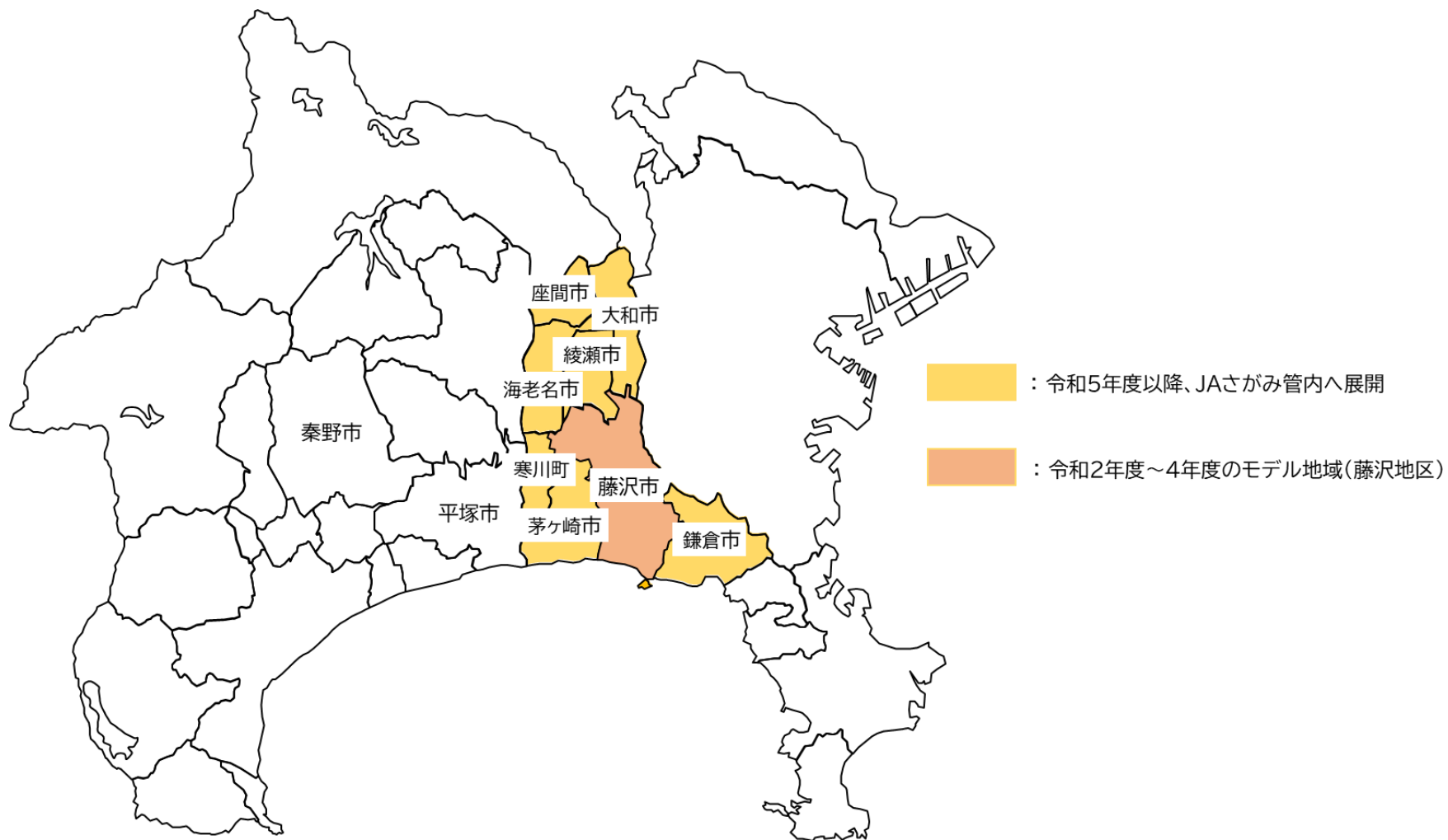
お試しノウフク全般としては、農家の方の見本・手本・実演により、スタッフや利用者に作業内容が良く伝わり、農家側としてはスタッフが作業内容を伝達・補佐していることへの安心感があった、また、福祉側としては利用者の熱心な取り組み、やりがいを感じられる、（農家やスタッフの方との）会話の発生等、普段見られない表情が見られたと好評。

一方、懸念や改善事項も多々あり。農家側としては「経験あるスタッフの方がいないと難しい」「利用者の特性により、利用者ができる作業（用意できる作業）に限りがある※」「継続するには、利用者の得意分野や適性を把握する必要がある※」「単に作業を行うのではなく、作業を通じて食に興味を持ってもらえると嬉しい※」、福祉側としては「工賃の調整が難しい」「作業は暑さもあり持続するのが難しい」「週1回だけだとせっかく覚えた内容を忘れてしまう」「スタッフ人員不足や送迎の車の不足で就労拡大が困難」「他の作業との兼ね合いで頻度があげられない」との意見もありました。

※：農家側の利用者への期待が大きいことからの意見でもあると認識

		農家			両方	
		①福祉事業所のスタッフの方に作業内容は伝わりましたか？	②利用者の方に作業内容は伝わりましたか？	③利用者の方の作業状況・作業結果をどのように感じられましたか？	⑦お試しノウフクに参加したことで、新たな学びや気づき（こうした方がよい等の提案含む）がありましたか？	⑧今回のお試しノウフクの結果を受けて、定期的な作業を依頼（or受託）することはお考えですか？
農家	くわちゃん農園	5	5	5	5	5
	Smileberry428（かたくりの里）	5	5	5	4	5
	とみたの野菜	5	5	5	5	5
	大和ゆききファーム	5	4	3	3	5
	Smileberry428（のぞみ）	5	4	4	4	5
	コモレビ農園	5	5	5	5	5
	ひなた園芸	4	3	4	4	4
	尾島園芸					
	サンベジふるガーデン	4	4	5	5	5
	鴨志田ファーム	5	5	3	5	5
	平均	4.8	4.4	4.3	4.4	4.9
	自由意見	・意思疎通はできていると思います ・スタッフ経由でなくとも利用者さんに直接伝えることができ、理解も早くスムーズなコミュニケーションができた（A型） ・こちらが伝えたことだけでなく、利用者さんに伝える工夫も感じられました。	・伝わったけれど、スタッフの方がいなければ難しいと思う。 利用者それぞれの個性を理解するのは難しいので。 ・利用者さんの理解を確認しながら説明し、作業中にそれを補正してくれる様子がありました。	・利用者の特性にもよるが、できる作業が想像以上に少なく感じる。 ・成果品の質については全く問題ありません。 ・とてもよくやってくれましたが、得意分野や適性を把握するのは大変。継続するにはそのあたりも重要だと感じました。 ・作業の早さ、手際などは今後に期待(A型)	・借地では休憩・作業施設を設置できず、十分な受け入れ態勢を用意できないため、小作農には農福連携はそぐわないかもしれないと思った。 ・A品、B品に分ける等の作業は難しいようなので、袋に野菜を詰める等の作業だけのほうが利用者さんはやりやすいと思いました。 ・依頼できる作業内容も幅広くありそうで、頼もしいと感じました。⇒ ・単なる「作業」ではなく、管理や収穫を通して「食」に関心を持ってもらえると嬉しい。 ・作業手順書などがあれば、慣れや飲み込みの早さにつながると思う。 ・作業の標準化が行われているかどうか、円滑なスタートに必要と思いました ・利用者さんの得意なこと、苦手なことが直接作業している姿を見て感じる事ができました。 ・チェック体制の強化は必要	一般に作業は2時間程度なのですが、農作業を好む利用者さんであれば、1回に4時間とかできるとありがたい ・回数を重ねることのできる工程が増えたり、作業効率が上がると思う ・自分で考えて判断する、複雑な工程の作業、細かい作業等は苦手なようなので、単純作業のみの依頼ばかりになることを考えると、やってもらえる仕事に十分に用意できるかが課題（スタッフ介助での作業効率の低下や利用者さんの自主性を大事にすると単純作業が向いているように感じている） ・自分も楽になり、売り上げも増える可能性がある

		福祉事業所			両方	
		④スタッフの方は、作業内容は理解できましたか？	⑤利用者の方に、作業内容を伝えることはできましたか？	⑥利用者の方の作業中や作業後の反応は如何だったでしょうか？	⑦お話しノウフクに参加したことで、新たな学びや気づき（こうした方が良い等の提案含む）がありましたか？	⑧今回のお話しノウフクの結果を受けて、定期的な作業を依頼（or受託）することはお考えですか？
福祉事業所	リガーレ事業所	5	5	5	3	5
	かたくりの里	5	5	5	5	4
	レインツリー鶴間事業所	5	4	4	4	3
	福祉創造スクウェア・すぶら	4	5	3	4	5
	多機能型事業所のぞみ	5	4	5	5	4
	就労継続支援B型事業所・友達	5	5	5	4	5
	NPO法人フリークラブ湘南	5	5	5	5	5
	就労継続支援B型・庭と森	5	5	5	5	5
	株式会社如庵	5	5	5	5	5
	平均	4.9	4.8	4.7	4.4	4.6
	自由意見	・見本、手本を見せただけで理解できました。 ・よく理解できました。 ・実演を交えて丁寧に説明頂いたのでわかり易かった。 ・職員が同行する事で、作業量が多くなり、ハードな作業量となった。（原文のまま） ・実際に目の前で作業をみる研修の様なものを開いてくれてわかりやすかった。	・見本、手本を見せる事で伝わります。 ・正確に伝えることができたと思います。 ・利用者に基本を見せた上で作業して頂いた ・職員と一緒にいる、やり方を伝えました。	・学校などで経験したことがある方がおり、懐かしい思い出が蘇ったようです ・気温が高く熱中症が心配でしたが、農家の方が小まめに休息や水分補給を促してくれたので、安心して作業ができました。 ・普段見られない柔らかな表情や作業に対する熱心な取組、本当に楽しく充実していた様子。 ・楽しくできたと話していました。 ・お仕事はうれしいと言ってくれました。 ・初めてで緊張はありましたが、外での作業は気持ちよかった様です。 1時間の作業は疲れましたが、やりがいがあった様です ・汗をかいての作業になるため、爽快感がある様子でした。	・農作業を懐かしがる利用者さんが多かったです。 ・時給の話し合いが難しかったです。 ・お互いにメリットを感じて、有意義な取り組みであることに気づいたのではないかと ・利用者の表情や会話を通して普段とはまた違う一面が見られたこと。 - 作物の栽培時期や天候によって内容も変化する中で事業所側の職員がわかりやすく伝えていく事が必要だと感じました。 ・仕事において現場をもっと教えて頂きたいです。 ・1時間の作業は暑さもあり、持続するのが難しいと感じました。 ・週に1回程度だとせっかく覚えたものを忘れてしまうので学びで考えると週1回では少なすぎる作業日数を増やしていきたい。	・利用者の方の笑顔があるので続けたいです。 ・作業の機会の提供だけではなく、工賃向上につながる制度や取り組みが充実していくと、継続していくモチベーションにつながると思います。 ・職員の人員不足や車の確保などの課題があり、現段階ではすぐに依頼をすることは難しい ・施設外の仕事を通じて社会との関わりを持ち希望を持って過ごしていきたいので。 ・他の作業等日程上の都合があるので頻度は少ないかもしれませんが ・利用者さんへの理解がある事、定期的な作業として見込めることから検討したいと思いました。



農作業委託契約成立15件

2021年度～2022年度
藤沢市

1. ゆうファームとかたくりの里
2. ぬくもり畑とチャレンジドジャパン
3. ぬくもり畑と藤沢ひまわり
4. ぬくもり畑とニコズキッチン
5. ヒロシファームとシニアライフセラピー研究所
6. 長谷部農園とシニアライフセラピー研究所
7. 永田農園とかたくりの里
8. 渋谷様（トマト農家）とトライフル鎌倉

2023年度（2024年2月末時点）
JAさがみ管轄内（8市町）

9. くわちゃん農園とリガーレ【藤沢市】
10. Smileberry428とかたくりの里【藤沢市】
11. とみたの野菜とレインツリー鶴間事業所【大和市】
12. 大和ゆうきファームと
福祉創造スクウェア・すぷら【大和市】
13. Smileberry428と
多機能型事業所のぞみ【藤沢市×横浜市泉区】
14. コモレビ農園と就労継続支援B・友達【寒川町】
15. サンベジふるガーデンと庭と森【海老名市】



緑丸：農場・農園
橙丸：福祉事業所

農家の方と福祉事業所の方とのマッチングの流れ（藤沢市の例）

事務局（NPO）が企画するイベント

4～5月 スタートアップミーティング



5～8月 フィールドワーク

- ①畑の見学
- ②雇用に向けた**就農体験会**
（**お試し農福**=トライアル）の設定
- ③契約締結支援、助成金申請支援等
- ④契約後の作業開始の立会



8月～定着のフォローアップ

10月「～農業のちからと福祉のちからをつなぐ～農福連携コーディネーターの役割を知る」講座
神奈川県コミュニティカレッジ連携講座（10/1・10月中旬現場体験・10/29、全3回、3,000円）【参考】

派遣された**農福連携コーディネーター**の役割

前向きな農家や福祉事業所の方の発掘
畑の見学の設定



日程調整、立会・調整進行
特に①時に、作業内容、頻度、作業単価の調整を実施



農家や福祉事業所の方から作業状況や問題点をヒヤリング

農家・福祉事業所のマッチング状況（2023年度）

【藤沢市での受け入れ実績有の農家の方との連携】

- ・ぬくもり畑／Comaki（小林万季子）さん
現在は1つの事業所（ニコズキッチン）で1名のみ。
福祉事業所側としては利用者さんの希望を優先、また、農家側としては経験者の派遣はありがたいことから、来年度も継続する。来年度は自身が農作業に注力できる環境となるので、他事業所とのさらなるマッチングは希望しない。
- ・長谷部農園（いちご）／長谷部さん
夏の暑さで苗の育成が悪かったこともあり、シニアライフセラピー研究所（亀吉）は2日から1日に減としている。来年度も継続するが他事業所の増は考えていない。
- ・ヒロシファーム／宮國さん
1町から2町へ畑を拡大。亀吉での梱包と納入だけでなく、健常者のアルバイトだった畑作業での受け入れがあるかどうか。（大谷（和）さん）
→シニアライフセラピーとの関係が良好なので、積極的ではないが他の事業所との連携自体は可能。但し、労働力確保の前提として販路拡大をまず考えたい。シニアライフセラピー経由の販路が一か所なので、もう少し拡大してもらえればと思っている。
- ・永田農園／永田誠さん
農福連携コーディネーター（以降COと略す）の斎藤さんがご自身のかたくりの里をマッチング、他福祉事業所とのさらなるマッチングが可能か。（斎藤さん）
→永田農園は利用者が何人来ても大丈夫な様子。
現状は、光友会が午前と午後に、かたくりの里が半日と入っている。

農家・福祉事業所のマッチング状況（2023年度）

- ・井出農園／井出康平さん（三代目）

光友会（寒川事業所）から、週3日4h（お昼は寒川事業所で作っているお弁当持参）で、現時点では3名程度の就労（4年目）。他の事業所の参画はない様子。人員増は依頼されていない。（12/11光友会ヒヤリング）



「キュンとするまち。藤沢」公式マスコットキャラクターふじキュン♡

農家・福祉事業所のマッチング状況（2023年度）

就農体験会（お試しノウフク）の企画・運営 2 市町以上で9回（例えば3市町で3回ずつ）、障がい者参加者数 5 名／回。

上記お試しノウフクを経てマッチングに繋げる。

【藤沢市での新規開拓】

- 藤沢市：お試しノウフク 5 件、マッチング成立 3 件
 - ・ くわちゃん農園とリガーレ（継続B型）（COは本橋さん（二期生））で、「お試し農福」を実施し、助成金無しで、マッチング成立。
その後の状況、自動延長が続くのかと、来年度の計画はどうなるか。（本橋さん）
→ 契約そのまま基本継続。洗浄はリガーレ畑での作業となり非効率で断念。選別作業は難しく簡単な梱包作業のみ。畑作業もお願いしたい意向。リガーレの畑が移設したことにより、リソースに余裕ができるかもしれない。
 - ・ smileberry428とかたくりの里（継続B型）（COは斎藤さん）で、「お試し農福」を実施し、助成金無しで、マッチング成立（7月のみの契約）。

- ・ smileberry428と多機能事業所のぞみ（継続B型）（COは大谷（和）さん）で、「お試し農福」を実施し、助成金無しで、マッチング成立。

状況をヒヤリング、来年度の計画。（大谷（和）さん）

→工賃は月2万円くらいないと他作業が優先となってしまう。時給が上がれば、今以上の頻度での作業も可能。現状は百瀬さん本人が連れて行っているが他スタッフを配置したいとの思いもある。のぞみとしては継続希望だが、利用者の体調など福祉側の都合で実施できないこともあり、少ない頻度で渋谷さんは大丈夫なのか心配している。利用者には人気の作業。

- ・ ひなた園芸とフリークラブ湘南（地域活動センターⅢ型）（COは吉田さん）、尾島園芸とフリークラブ湘南で、ともに事業所持込の作業でのお試しノウフクを実施。

今後の契約に繋がるかどうか。（吉田さん）

→現時点では他事業所や関係者からの注文に応じた量を農家から提供頂いてその分のみを作業。来年度助成金を申請することもあり、契約書ひな型は農水課からのものをベースに作成中。工賃については調整中。

【他市町での新規開拓】

- 海老名市：お試しノウフク2件、マッチング成立1件
 - ・ サンベじぶるガーデンと庭と森（継続B型）、鴨志田ファームと如庵（継続A型）でサンベじぶるはマッチング成立。鴨志田ファームは収穫時の繁忙期のみ毎日での就労。
 - ・ サンベじぶるガーデンの三部さんが、県のなでしこファーマーズ等のご自身のネットワークを活用してCO支援して頂いている。12月初旬に農家との意見交換会を実施。
 - ・ 伊田園芸他1件も来年度にかけてお試しノフクを実施する可能性はあるが、障がい者特性の把握にとどまりそう。

- 大和市：お試しノウフク2件、マッチング成立2件
 - ・ 野菜のとみたとレインツリー鶴間事業所（継続B型）、大和ゆうきファームと福祉創造スクウェア・すぷら（継続B型）で「お試し農福」を実施し、マッチング成立。

- 茅ヶ崎市：
 - ・ 9月下旬に福祉事業所連絡会で事業につき説明したが、臨時会議で参加が少数だったためか反応無し。来年度にも同様の説明会を実施することの了解は得ている。

- 寒川町：お試しノウフク1件、マッチング成立1件
 - ・ コモレビ農園と友達（継続B型）（基幹相談センターからの紹介）。7反の有機栽培農家で、友達は隔週1日2hで2名程度の就労のため、他事業所の就労も継続希望。
 - ・ 12月中旬に福祉事業所連絡会で事業につき説明し、友達以外の2件が見学。

藤沢市：くわちゃん農園とリガーレ

- くわちゃん農園（桑垣隆一さん）

農地：藤沢市御所見病院近辺

新規就農2年目、畑7反、多品目少量（ズッキーニ・いんげん・とうもろこしほか）、慣行農法、通常作業はご自身1人。

- 社会福祉法人エール湘南 リガーレ（継続B型・生活介護）

1反の畑を保有。畑作業、洗浄、梱包の経験有。畑担当の利用者は8人～10人程。

- コーディネーター 本橋さん

- ◆ 作業委託内容

週2回（火、金）、1名程度、数時間程度、事業所内でズッキーニの袋詰め、賃金300円／回。



藤沢市：Smileberry428とかたくりの里

- Smileberry428（渋谷典子さん）

農地：藤沢市亀井野3153他

相続で就農3年目、畑2反、多品目少量（ブルーベリー主体、じゃがいも、にんじん他）、無農薬、通常作業はご自身1人。

- 社会福祉法人県央福社会 かたくりの里（就労継続B型・生活介護）

利用者3名のうち2名は、日ごろからカマを用いた施設外作業に従事しており、カマを用いた除草作業も大丈夫（7/4のお試し農福時）

- コーディネーター 斎藤さん（かたくりの里勤務）

- ◆ 作業内容

週1回（火）、3名程度、2時間程度、ブルーベリー畑の草刈り他
賃金500円／h／人。7月限定。

→酷暑のため、作業予定のうち、実施できたのは **2回**。



藤沢市：Smileberry428と多機能型事業所のぞみ

- Smileberry428（渋谷典子さん）

農地：藤沢市亀井野3152-1、藤沢市西俣野1199-1

相続で就農3年目、畑2反、多品目少量（ブルーベリー主体、じゃがいも、にんじん他）、無農薬、通常作業はご自身1人。

- 社会福祉法人こうよう会 多機能型事業所のぞみ（就労移行支援・就労継続B型）

定員20名（就労移行支援6名・就労継続支援B型14名）。屋内軽作業・施設外就労・職場体験実習・職場開拓。

- コーディネーター 大谷（和）さん

- ◆ 作業内容

月3回、最大3名、2時間程度、除草等の圃場管理

賃金400円／h／人

契約期間：2024年1月1日～2024年3月31日

■ 2023年10月26日（木）13時からお試しノウフクを実施
ブルーベリー畑（藤沢市亀井野3152-1）の草刈り。2時間の作業、休憩2回。

お試しノウフク実施後の感想

渋谷さん：考えていた以上に作業していただいた。

多機能型事業所のぞみ・百瀬さん：作業は予定していた利用者ではなかったが、今回のお試しノウフクで園芸作業に向いていることが分かった。



藤沢市：ひなた園芸とNPO法人フリークラブ湘南 【契約調整中】

● 北村勝利さん

農地：藤沢市西俣野486付近

花木メインの農家。野菜と米も栽培している。労働力は、夫婦2人、援農ボランティアとして10名ほど登録している。1日1回2～3時間の労働を午前と午後最低一人はお願いしている。米作りは北村さん一人の作業のため手伝ってもらいたいと考えていた。

● NPO法人フリークラブ湘南（地域活動支援センターIII型）

藤沢市宮原1442（利用者は知的障害の方がメイン）。エコキャップの仕分け、リユースハンガー分別・洗浄、広告の挟み込み、小型家電分別作業などの作業を請け負う。月に1回創作的活動や外出企画を行ってる。また、

● コーディネーター 吉田さん（NPO法人フリークラブ湘南勤務）

◆ 作業内容（頻度：週1回・2時間 参加人数：1名）

受注した数の米（はるみ）の計測及び袋詰め。大きさは5kg,3kg。受注内容に異なる。

賃金：1,000円/h



藤沢市：尾島園芸とNPO法人フリークラブ湘南 【契約調整中】

● 尾島タケルさん 福島有美子さん

農地：藤沢市西俣野947

トマト農家。娘の福島さんに代替わりしたが、尾島園芸自体は100年ほどの歴史がある。労働力は、福島さん本人と尾島さん夫婦2人。援農ボランティア9名が登録し不定期に手伝っている。パートは雇用していない。登録している援農ボランティアが高齢で相手都合の労働力なのが悩み。

● NPO法人フリークラブ湘南（地域活動支援センターⅢ型）

藤沢市宮原1442（利用者は知的障害の方がメイン）。エコキャップの仕分け、リユースハンガー分別・洗浄、広告の挟み込み、小型家電分別作業などの作業を請け負う。月に1回創作的活動や外出企画を行ってる。また、

● コーディネーター 吉田さん（NPO法人フリークラブ湘南勤務）

◆ 作業内容（頻度：週1回・2時間 参加人数：1～2名）

受注した数のトマト袋詰め。トマトは選果し計測する。バググシーラーで袋の口をとめ、出荷用段ボールにいれるまでの作業。
賃金1,000円／h



大和市：とみたの野菜とレインツリー鶴間事業所

- とみたの野菜：富田治孝（トミタハルタカ）さん

農地：大和市福田156他（畑の所有者は父親の富田一治さん）

13代続く農家、畑1町（3か所）、とうもろこし、えだまめ、なす、ピーマン、キャベツ等、他に果樹が3反で柿やブルーベリー、ハウスでミニトマトと多彩、慣行農法、通常作業はご自身と母親の2人。奥様が手伝いで平均で2.5人とのこと。

- （株）ナチュラルライフサポート レインツリー鶴間事業所（就労継続B型）
ガーデニングで障がい者支援、働いて元気が出る作業所。依頼者のお庭で作業。

◆ 作業内容

隔週週1回、1名～3名程度、2時間程度、畑での草刈り等

賃金300円／h／人

- ▶ 富田さんは2023年度冬に新しい農法に挑戦中。その準備のため作業内容も現在は片付けが多いとのこと。



大和市：大和ゆうきファームと福祉創造スクウェア・すぷら

- 氏名非公開

農地：番地非公開

新規就農1年目、畑2反7畝、多品目少量（さつまいも・大豆・なす・葉野菜・大根・にんじんほか）、固定種で植物性の肥料とこだわりの有機農法、通常作業はご自身1人、援農ボランティアも募集、以前は福祉事業所にお勤め、農園名の名付け親は連携する福祉事業所の利用者さん。

- 社会福祉法人県央福祉会 福祉創造スクウェア・すぷら（就労継続B型・生活介護）施設の花壇にラベンダーを育てている。その作業を担当している利用者が5～6人くらいいる。農地を借りて畑作業を検討していた。農作業のノウハウも質問してみたい。

- ◆ 作業内容

週1回、1～4名程度、2時間程度、畑での草刈り等

賃金1,000円／h（人数にはよらない。生活介護の方の体験でもOK）

▶ 農家としては作業内容に変化をつけているとのこと。新たな作業を試すことで、利用者の可能性を把握することができ、最終的に作業効率が上がっていると感じている。



寒川市：コモレビ農園と就労継続支援B・友達

● 馬谷原光織（まやはら みつおり）さん

農地：高座郡寒川町小谷1490-1(2.5反),1490-7(2反),1490-8(2反),1492-7(2反),高座郡寒川町小谷1095(2反),高座郡寒川町岡田405(2反)

新規就農1年目（2022年秋から）有機栽培農家。JAさがみに属し学校給食への卸の斡旋を受けている。少量多品目栽培で加工場も整備し、野菜のドライ加工が可能。労働力は、夫婦2人、月2回のアルバイト、援農ボランティア。収穫の人手が足りず野菜は廃棄状態。

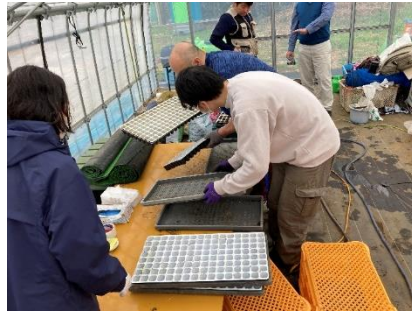
● NPO法人ともだち 友達（就労継続支援B型）

高座郡寒川町宮山7-1 合津ビル2階 定員20名（利用者は精神障害の方がメイン）。清掃、PC解体等（施設外）、菓子箱組立等軽作業（施設内）を請け負う。農家を営む理事の協力で、利用者の体験作業のひとつに農作業を取り入れている。ビニールハウス内や作業場内での育苗成や選別やパッキングは、経験している作業との類似性がある。

◆ 作業内容（頻度：隔週1回・2時間 参加人数：1～2名）

耕耘・種まき・育苗成・草刈り等・畑作業全般。

賃金1,112円／h（人数にはよらない）



海老名市：サンベじふるガーデンと庭と森

● 三部孝子さん

農地：海老名市大谷北3-12-17

無農薬の露地栽培農家。家の庭に畑、梅林、竹林とある庭園風。屋外に簡易トイレが1台、休憩可能なガーデンテーブルセットがある。父親と二人で分担する作業もあるが、基本は一人で作業している。草取りや残渣の処理が大変なのでそのお手伝いをお願いしたい。

● 就労継続支援B型「庭と森」

海老名市東柏ヶ谷5-18-19 定員20名。ファーム軽作業部門とイラストデザイン部門に分かれ作業を請け負う。ハーブガーデンを所有し運営しているが、作業の幅増やしたく、今回農福連携の取り組みに参加した。衣食住に関わる農作物をやりたいと考えている。

◆ 作業内容（頻度：週1回・2時間 参加人数：6名）

耕耘・種まき・苗育成・草刈り等・畑作業全般。

賃金（非公開希望）は人数によらずに回数と時間で設定



海老名市：鴨志田ファームと如庵（じょあん） 【契約調整中】

● 鴨志田ファーム

農地：海老名市本郷2886

トマトときゅうりがメイン。ビニールハウス4棟（8連）。他に野菜も。

労働力は、基本はご夫婦だが、繁忙期は1日あたり1～3名程度のパートを雇っている。

トマトの繁忙期は5月から6月、きゅうりの繁忙期は10月から11月

● 就労継続支援A型「如庵」

海老名市門沢橋3-6-21 弁当製造がメインであるが、工場等での施設外就労も行っている。

精神が13名、身体2名、知的2名、合計17名の利用者がいる。早朝の対応も可能。

4～4.5時間を週5日で最低賃金以上の雇用契約を事業所と利用者の間で結んでいる。

◆ 作業内容（頻度：繁忙期のみ。週5日・3時間（9:00～12:00）。参加人数：3名）

トマトの収穫、及び選果と袋詰め

工賃については、研修時は無償で、段階的に最低賃金程度までの引き上げることで、受委託契約を事業所と農家で結ぶ予定。



マッチング等支援事業を進める中での課題と解決策（案）

◆ 助成金の案内について（藤沢市）

今年度のスタートアップミーティング（お試しノウフクの事前説明会の位置付け。助成金の説明も含む。来年度は名称変更予定）は4月下旬から5月中旬に実施したが、継続して助成金を申請する農家が多くなってきたことから、その時点で助成金の申請枠が満杯に近い状態だった。

→

- ・来年度は早期に実施する（現在4/14で計画）
- ・マッチング済みの農家の方には、満額で申請するのではなく、実績にあった申請より、申請枠の満杯になるのを可能な限り抑えるよう、コーディネーターがフォローする（3月上旬に実施したコーディネータ連絡調整会議で展開済）

◆ 農福連携コーディネーターの活動と養成について

機構に登録のコーディネーターは現在20名（下記講座後登録者含む）となったが、四半期毎に開催しているコーディネーター連絡調整会（情報共有）の出席は半分の10名程度、実際にマッチング支援に活動頂いている方は更に半分の5名前後であるのが実情。

また、藤沢市開催の養成講座であったため、藤沢市在住在勤の方が多く、活動も市内のマッチング支援を主にして頂いている。一方、県内への横展開の進捗（順調にマッチング数増加）に従い、特に、JAさがみエリアは範囲が広いため、（事務局だけでは回せなくなりつつある）農家や福祉事業所のマッチング後のフォローアップ等をボランティアとして活動頂く、地縁のあるその市町に在住在勤の農福連携コーディネーターの発掘は必要と考えている

→

マッチング等支援事業を進める中での課題と解決策（案）

→

アクティブなコーディネーターや事業対象エリアのコーディネーターを発掘するため、かながわコミュニティカレッジで2020～2022年度のマッチング等支援事業の、藤沢市を対象とした「農福連携コーディネーター養成講座」に近い内容で、県域を対象とした「“農福連携コーディネーターの役割を知る”講座」を自主事業として10月に実施した（定員30名、3,000円）。

14名が受講し、質疑応答も活発で、横のつながりもでき、講座終了後のアンケート結果も好評だった。また、受講者のうち2名が、コモレビ農園の馬谷原さんと多機能事業所のぞみの百瀬さんであり、後日の寒川と藤沢2件マッチングにもつながっている。結果として、4名の方にコーディネーター登録頂いたが、残念ながら今回の事業対象エリアの方は少なく（開催地の横浜が多い）、継続的な実施が望ましいと考える。

⇒

しかしながら、損益的には（ある程度の想定はしていたものの）大きく赤字で、このままでは、自主事業としての継続は難しい。

→助成金の活用（対象未調査、経費の大部分を占める人件費が出ないものも多い）

マッチング等支援事業を進める中での課題と解決策（案）

◆ 令和7年度以降の活動について

以前より、四半期報告で提示しているマイルストーンに「独立組織での運営／コーディネーター運営」「登録コーディネーターによる勉強会／組織化、収益化、独立化の検討」を記載しているが、具体的な検討を進める必要がある。

→独立組織のイメージ

各々では困難に思える。現在の各地域事務局を統合するイメージか。

- ・対象地域を統合することにより、事務局（有償）の機能を効率化
- ・ボランティア（無償）のコーディネーターを活用
- ・本組織にてコーディネーターを登録

⇒自走化は活動資金の調達がネックでリスクが高い

- ・県委託の継続（県委託の解消ではなくて、マッチング需要を鑑み、段階的に移行）
- ・市委託の開拓（啓蒙活動、ニーズ調査、地域でのコーディネーター養成講座等）
- ・会費や寄付を頂ける賛同者の開拓
 - マッチング後の農家や福祉事業所
 - 農福連携農家との協働等で利があり、自社会員を多数有し、寄付を得やすい生協等
 - 規模の大きい社会福祉法人、JA等

来年度の計画案

藤沢市、大和市※、海老名市、寒川町、+茅ヶ崎市
(※農福連携啓蒙を目的とした有識者講演を含む
新スタートアップミーティングとニーズ調査を別途請負)

事務局（NPO）が企画するイベント

派遣された農福連携コーディネーターの役割

4月～ お試しノウフク説明会
(旧スタートアップミーティング)

前向きな農家や福祉事業所の方の発掘
畑の見学の設定

5月～ フィールドワーク
①畑の見学
②雇用に向けた就農体験会
(お試し農福＝トライアル) の設定
③契約締結支援、
助成金申請支援（藤沢市のみ）等
④契約後の作業開始の立会

日程調整、立会・調整進行
特に①時に、作業内容、頻度、作業単
価の調整を実施

8月～定着のフォローアップ

農家や福祉事業所の方から作業状況や
問題点をヒヤリング

10月「～農業のちからと福祉のちから
をつなぐ～農福連携コーディネーター
の役割を知る」講座
県域での有料講座【自主事業：未定】

各市町に地縁のある
コーディネーターは必要
(特にフォローアップ)

コーディネーターの構図

組織間コーディネーター

農家の方と障がい福祉施設
(もしくは障がい者) との
マッチングを行い、
農福連携の輪を広げて行く

組織内コーディネーター

農

現在経営されている
農園等を中心として、
障がい福祉施設
(もしくは障がい者) への
アプローチを
具体化して行く。

福

現在お勤めの
障がい福祉施設等を中心とし
て、農業者へのアプローチや、
農業経営化を
具体化して行く

ロードマップ (2020→2025)

